

交流人口の増加で『日本一の串柿の里』に活力を！！

四郷生活圏(かつらぎ町)

現況

【人口】677人【集落数】4集落【高齢化率】37.4%
 【世帯数】230世帯(うち1人暮らし世帯 20世帯)
 【施設】広口簡易郵便局、四郷保育所(8名)
 四郷児童館(公民館併用)、
 JA紀北かわかみ四郷グリーン店
 旧四郷小学校(H24.3廃校)
 【地域資源】堀越観音、四郷串柿祭り、四郷千両太鼓
 千両踊り、文蔵の滝

【主産業】農業(柿、すもも、キウイ、水稲)
 【特産品】串柿(出荷ケース:19,800ケース【50本入りで1ケース】)
 (生産戸数:80戸)
 【鳥獣被害】イノシシによる農作物被害
 (捕獲頭数 H24.4月~10月 340頭)
 【交通】コミュニティバス(四郷コース 笠田駅~東谷)
 ・5便/日
 月平均 274人 日平均 9.1人

【生活環境】商店数 3店(食料品、日用品など)
 ・農家民泊 1軒
 ・診療所なし

課題

1. 交流人口の増加対策
 - ・来訪者の受け入れ環境の整備が必要
 - ・串柿に次ぐ地域の魅力の創出が必要
2. 世代間交流対策
 - ・過疎化による人口減少のため、集落内における世代間のつながりが必要

課題

3. 収入確保・生きがい対策
 - ・地元食材を活かした加工品が無い
 - ・地元住民の交流・生きがいづくりの場が無い
4. 安全・安心の暮らしづくり対策
 - ・災害時の避難支援体制の確立が必要
 - ・一人暮らし高齢者に対する支援体制が必要

対策

1. 《交流人口の増加対策》 3,632千円
- 来訪者の受入環境整備【体験事業実施グループ】【語り部グループ】【農家民泊受入れ農家】
- ・四郷(4集落)の散策案内板の設置、ガイドマップの作成
 - ・来訪者を案内する語り部を育成(目標:4人→10人)
 - ・日本一の生産量を誇る『四郷の串柿』づくりを体験
 - ・四季折々の体験を提供
(春:山菜採り、夏:梅収穫、秋:ぶどう狩り、(冬:串柿づくり)等)
 - ・農家民泊受入れ農家の拡大(目標:1軒→10軒)

- 公共トイレの設置 【かつらぎ町】 15,000千円
- ・観光客のためのトイレを設置

2. 《世代間交流対策》 988千円
- 地域伝統文化の継承による世代間交流【伝統文化保存会】
- ・地域伝統文化である「四郷千両太鼓」の教室を開催することにより世代間交流と地域内の担い手を育成。
 - ・町内小中高等学校(小学校5校、中学校2校、高校3校)、福祉施設(8施設)等を訪問し、地域外と交流



太鼓教室

対策

3. 《収入確保・生きがい対策》 2,100千円
- 地元食材を活かした加工品の製造販売 【食材加工研究グループ】
- ・地元産フルーツや農作物、山菜等の加工品を製造販売
 - ・地元で採れる山菜を活用した加工体験教室を実施し、住民同士の交流を促進

- 《環境整備対策》 35,000千円
- 四郷小学校(廃校)の改修整備 【かつらぎ町】 35,000千円
- ・廃校舎を改修し、地域活動拠点(太鼓練習場、加工体験拠点、生涯教育)として再生

4. 《安全・安心の暮らしづくり対策》
- 地域防災活動実施【寄合会】
- ・災害時の災害弱者への対応マニュアルを作成
- 地域見守り活動実施【寄合会】
- ・一人暮らし高齢者宅等を定期的に見守る活動を実施

串柿の風景



目指すべき姿

- 交流人口の増加で活力ある集落づくり!
- 地域資源を活かした取り組みで自立集落づくり!

【事業期間】H25.5~H27.3
 【事業主体】四郷自治振興会
 (語り部、四郷千両太鼓、体験事業実施、食材加工研究の各グループ)
 農家民泊受入れ農家、かつらぎ町、寄合会

全体事業費 56,720千円
 県 6,720千円
 町 50,000千円